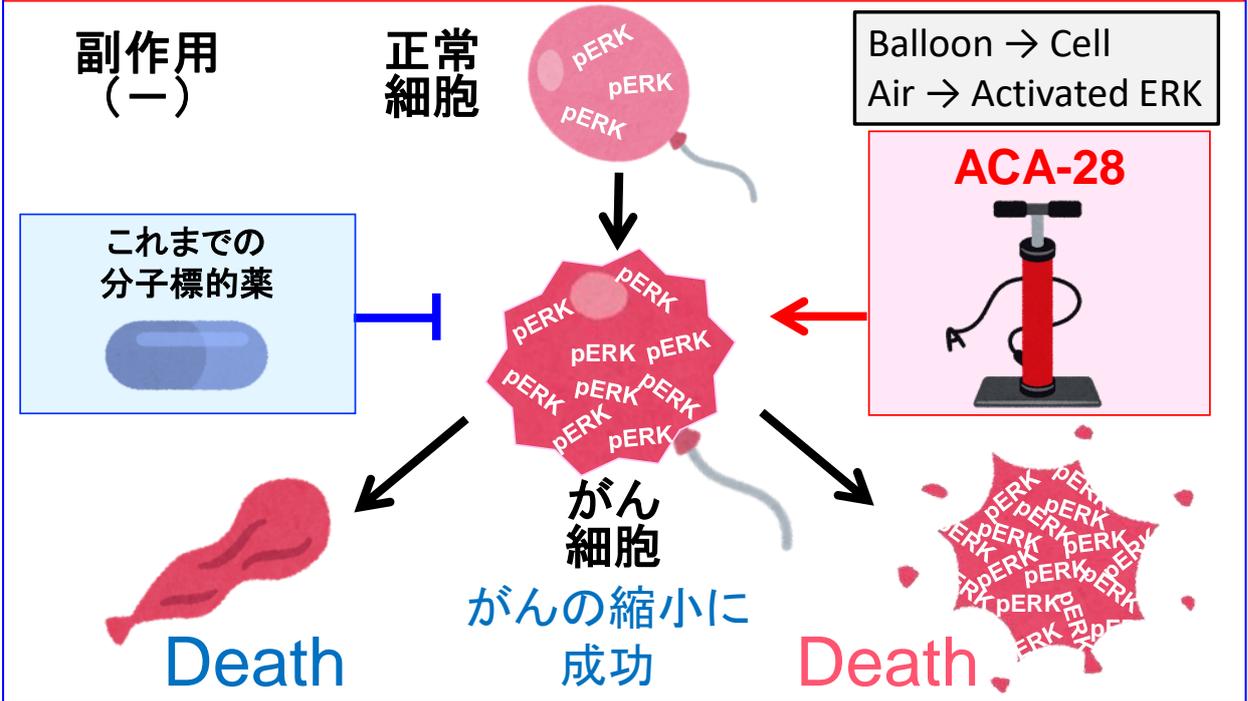




ERK MAPK シグナルを過剰に活性化させることによる抗がん剤ならびにがん治療法

キーワード 抗がん剤、ERK MAPK、がん治療、がん細胞選択性、副作用軽減、新しい作用機序

研究内容の概要：
 がん細胞で活性化しているERKをさらに活性化させることによりがん細胞を死滅させるがん治療法の開発



ERKが活性化している多様ながん種に効果が期待できる

- | | |
|-------|--|
| 特長／効果 | <ul style="list-style-type: none"> ● 従来の抗がん剤と比べて正常細胞に対する副作用軽減 ● ERK が活性化しているあらゆるがん種の治療に応用可能 ● 従来の分子標的治療薬を超える画期的な作用機序 ● 従来の創薬概念を覆す逆転の発想 |
|-------|--|

- | | |
|-------|---|
| 利用／用途 | <ul style="list-style-type: none"> ● 悪性黒色腫(メラノーマ) ● 乳がん ● 大腸がん ● 扁平上皮がんなど |
|-------|---|

知的財産権等情報		薬学部 創薬科学科	杉浦 麗子
特許出願	特願 2017-216740	URL: http://www.phar.kindai.ac.jp/genome/index.html	
論文等	1 編		

連絡先: 近畿大学 リエゾンセンター(KLC)
 〒577-8502 大阪府東大阪市小若江 3-4-1 E-mail: klc@kindai.ac.jp
 TEL:06-4307-3099 FAX:06-6721-2356 URL: <http://www.kindai.ac.jp/liaison>